



《死の家族》1950年

特定の国の風俗でも、事実在即した情景でもないが
我々の傷ましい悲劇的な前代を象徴するような「主題画」を描きたい・・・。
そういう欲求が、永い間、私の気持ちの中に伏せられたままになっていた。

——『アサヒグラフ』1951年1月31日号

宮本三郎 1940-1945

2010年 7月31日(土)～11月28日(日)

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL.03-5483-3836

<http://www.miyamotosaburo-annex.jp>

・東急大井町線・東横線「自由が丘」駅 徒歩7分 ・東急大井町線「九品仏」駅 徒歩8分 ・東急目黒線「奥沢」駅 徒歩8分

開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分）

休館日：毎週月曜日（ただし祝日の場合は開館、翌日休館）

観覧料：一般200円(160円)、大・高生150円(120円)、65歳以上・中小生100円(80円)

※()内は20名以上の団体料金。中・小生は土・日・祝休日、夏休み期間は無料。

障害者の方(一般・65歳以上)は、100円となります。障害者(大学生以下)と介助の方(障害者の方1名につき1名)は無料。

昭和の洋画壇を代表する一人として、宮本三郎(1905-1974)の名がとりあげられることは少なくありません。15歳にして故郷を離れ、川端画学校、関西美術院などに学び、二科展を中心に発表を重ねていた宮本は、昭和13(1938)年、初めての渡欧を果たします。

彼はフランス、イタリア、スイスなどを巡り、西洋美術をじかに感受する幸福な外遊の時を過ごしましたが、第二次世界大戦の勃発により、この旅は一年を経ずして、突然に終わりを迎えました。

帰国した宮本を待ち受けていたのは、戦時色に支配された日本の国情でした。若き日から、ただひたすらに画家をめざしてきた宮本にとって、戦争という生々しい現実との遭遇は、まさに濃厚な時代の潮流のただなかに、身を投じることにはほかなりませんでした。そうしたなか、彼の名を広く世に知らしめたのは、《山下・パーシバル両司令官会見図》(1942年/東京国立近代美術館蔵)でした。戦争記録画の中でもひととき注目されるこの作品は、今もなお、宮本三郎の名をにわかに想起させる一作です。

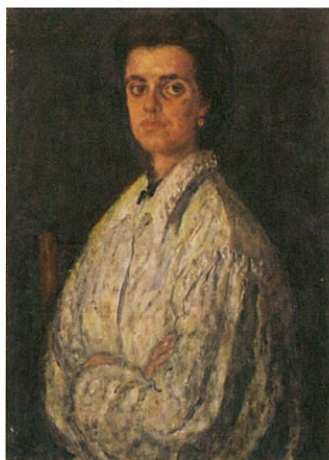
本展では、昭和15(1940)年から昭和20(1945)年という激動と混迷の時代を軸とし、これに相前後する滞欧期、そして戦後の荒廃した時期のそれぞれに描かれた作品をご紹介します。さらに周辺資料として、宮本三郎が遺した膨大な蔵書から当時の世相を反映した書誌、また従軍した中国、フィリピンで撮影された写真を初公開し、時代の変遷と対峙した、画家・宮本三郎の足跡をたどります。



《編み物》1945~48年頃



《看護婦立像》1941年



《着衣像》1938~39年頃



《飢渴》1943年

宮本三郎 SABURO MIYAMOTO 1940-1945

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL:03-5483-3836

交通/東急大井町線・東横線「自由が丘」駅(徒歩7分)
東急大井町線「九品仏」駅(徒歩8分)
東急目黒線「奥沢」駅(徒歩8分)

www.miyamotosaburo-annex.jp



《本間、ウェンライト両司令官会見図》制作のためにスケッチする宮本三郎 1943年

本館情報

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園 1-2
電話 03-3415-6011(代) ハローダイヤル 03-5777-8600
www.setagayaartmuseum.or.jp (詳細は、ホームページなどでご確認ください。)

■企画展

「ザ・コレクション・ヴァン・トール」 8月7日(土)~10月11日(月・祝)
「橋本平八と北園克衛展」 10月23日(土)~12月12日(日)

■ミュージアム コレクション

I「建島覚造 —アトリエの時間—」 4月16日(金)~9月5日(日)
II「小堀四郎と鶴外の娘 ひと筋の道」 9月15日(水)~2011年1月10日(月・祝)

分館情報

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 世田谷区弦巻 2-5-1 TEL. 03-5450-9581
www.mukaijunkiichi-annex.jp

「向井潤吉とルーヴル美術館 その滞欧作の魅力」
7月31日(土)~11月28日(日)

《無(アングルの模写)》1929年



清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 世田谷区成城 2-22-17 TEL. 03-3416-1202
www.kiyokawataiji-annex.jp

「清川泰次 自由への探求 <もの>にとらわれない世界へ」
7月31日(土)~11月28日(日)

《Painting No SF3564》1964年

